

令和7年度奈良県・大和高田市・県立大附属高
公立学校教員採用候補者選考試験

教 職 教 養

30問・45分

※ 答えはすべてマークシートにマークしなさい。

※ マークシートの左下にある「記入上の注意」をよく読んで答えなさい。

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- 1 下の文は、「教育基本法」および「学校教育法」の条文の一部である。文中の (a) ～ (e) に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内 の 1 ～ 6 から 1 つ 選 べ。ただし、同じ記号には、同じ語句が入るものとする。 [解答番号 1]

教育基本法

第五条 国民は、その保護する子に、別に法律で定めるところにより、(a) を受けさせる義務を負う。

2 義務教育として行われる (a) は、各個人の有する (b) を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。

3 国及び地方公共団体は、義務教育の機会を保障し、その (c) を確保するため、適切な役割分担及び相互の協力の下、その実施に責任を負う。

学校教育法

第七十二条 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。以下同じ。）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の (d) を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

第八十一条 第2項 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校には、次の各号のいずれかに該当する児童及び生徒のために、(e) を置くことができる。

- 一 知的障害者
- 二 肢体不自由者
- 三 身体虚弱者
- 四 弱視者
- 五 難聴者
- 六 その他障害のある者で、特別支援学級において教育を行うことが適当なもの

1	a - 普通教育	b - 個性	c - 環境	d - 困難	e - 通級指導教室
2	a - 学校教育	b - 能力	c - 環境	d - 困難	e - 特別支援学級
3	a - 普通教育	b - 能力	c - 水準	d - 課題	e - 特別支援学級
4	a - 学校教育	b - 個性	c - 環境	d - 課題	e - 通級指導教室
5	a - 普通教育	b - 能力	c - 水準	d - 困難	e - 特別支援学級
6	a - 学校教育	b - 個性	c - 水準	d - 課題	e - 通級指導教室

- 2 下の文は、「学校教育法施行規則」および「学校保健安全法」の条文の一部である。文中の (a) ～ (e) に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内 の 1 ～ 6 から 1 つ 選 べ。 [解答番号 2]

学校教育法施行規則

第六十五条 学校用務員は、学校の (a) の整備その他の用務に従事する。

第六十五条の二 (b) は、小学校における日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア（人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為をいう。）を受けることが不可欠である児童の療養上の世話又は診療の補助に従事する。

第六十五条の三 スクールカウンセラーは、小学校における児童の (c) に関する支援に従事する。

第六十五条の四 スクールソーシャルワーカーは、小学校における児童の (d) に関する支援に従事する。

学校保健安全法

第十条 学校においては、救急処置、健康相談又は (e) を行うに当たっては、必要に応じ、当該学校の所在する地域の医療機関その他の関係機関との連携を図るよう努めるものとする。

1	a - 環境	b - 学校保健技師	c - 適応	d - 福祉	e - 健康観察
2	a - 施設	b - 医療的ケア看護職員	c - 適応	d - 福祉	e - 健康観察
3	a - 施設	b - 医療的ケア看護職員	c - 適応	d - 生活	e - 保健指導
4	a - 環境	b - 学校保健技師	c - 心理	d - 生活	e - 保健指導
5	a - 施設	b - 学校保健技師	c - 心理	d - 生活	e - 健康観察
6	a - 環境	b - 医療的ケア看護職員	c - 心理	d - 福祉	e - 保健指導

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- ③ 下の文は、「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」の条文の一部である。文中の下線部 a～d について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せはどれか。□内の 1～6 から 1 つ選べ。

[解答番号 3]

第四条 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策は、教育職員等による児童生徒性暴力等が全ての児童生徒等の a 心身の健全な発達に関係する重大な問題であるという基本的認識の下に行われなければならない。

2 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策は、児童生徒等が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、b 学校内において教育職員等による児童生徒性暴力等を c 根絶することを旨として行われなければならない。

3 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策は、被害を受けた児童生徒等を適切かつ迅速に d 保護することを旨として行われなければならない。

- | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|
| 1 | a - × | b - ○ | c - ○ | d - × |
| 2 | a - × | b - × | c - ○ | d - ○ |
| 3 | a - ○ | b - ○ | c - × | d - × |
| 4 | a - ○ | b - × | c - ○ | d - ○ |
| 5 | a - ○ | b - × | c - × | d - ○ |
| 6 | a - × | b - ○ | c - × | d - × |

- ④ 下の文は、「いじめ防止対策推進法」の条文の一部である。文中の (a) ～ (d) に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内の 1～6 から 1 つ選べ。

[解答番号 4]

第二十三条 学校の教職員、(a) その他の児童等からの相談に応じる者及び児童等の保護者は、児童等からいじめに係る相談を受けた場合において、いじめの事実があると思われるときは、いじめを受けたと思われる児童等が在籍する学校への通報その他の適切な措置をとるものとする。

2 学校は、前項の規定による通報を受けたときその他当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、速やかに、当該児童等に係るいじめの事実の有無の確認を行うための措置を講ずるとともに、その結果を当該 (b) に報告するものとする。

3 学校は、前項の規定による事実の確認によりいじめがあったことが確認された場合には、いじめをやめさせ、及びその再発を防止するため、当該学校の複数の教職員によって、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者の協力を得つつ、いじめを受けた児童等又はその保護者に対する支援及びいじめを行った児童等に対する指導又はその保護者に対する (c) を継続的に行うものとする。

4 学校は、前項の場合において必要があると認めるときは、いじめを行った児童等についていじめを受けた児童等が使用する教室以外の場所において (d) を行わせる等いじめを受けた児童等その他の児童等が安心して教育を受けられるようにするために必要な措置を講ずるものとする。

- | | | | | |
|---|---------------|------------|--------|--------|
| 1 | a - 地方公共団体の職員 | b - 学校の設置者 | c - 助言 | d - 学習 |
| 2 | a - 地域住民 | b - 保護者 | c - 助言 | d - 学習 |
| 3 | a - 地方公共団体の職員 | b - 保護者 | c - 助言 | d - 反省 |
| 4 | a - 地域住民 | b - 学校の設置者 | c - 注意 | d - 反省 |
| 5 | a - 地方公共団体の職員 | b - 保護者 | c - 注意 | d - 反省 |
| 6 | a - 地域住民 | b - 学校の設置者 | c - 注意 | d - 学習 |

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- 5) 下の文は、「教育振興基本計画」(令和5年6月16日閣議決定)で示された「5つの基本的な方針」の一つについての説明文を抜粋したものである。次の問いに答えよ。

デジタル化には一般に「(a)」、「(b)」、「デジタルトランスフォーメーション (DX)」の3段階があると言われている。第1段階の (a) は紙の書類などアナログな情報をデジタル化することを表し、例えば紙のプリントをデジタル化して配信することがこれに該当する。第2段階の (b) は、サービスや (c) をデジタル化することを表し、例えば紙の教材を組み合わせている現状から、(d) のリコメンドを参考に教材の最適な選択を行うことができるようになることがこれに該当する。第3段階のデジタルトランスフォーメーション (DX) は、デジタル化でサービスや業務、組織を変革することを指し、例えば教育データに基づく教育内容の重点化と教育リソースの配分の (e) が該当する。

- (1) 文中の (a)、(b) に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。ただし、同じ記号には、同じ語句が入るものとする。 [解答番号5]

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 a-デジタルライゼーション | b-デジタルリテラシー |
| 2 a-デジタルリテラシー | b-デジタルライゼーション |
| 3 a-デジタルライゼーション | b-デジタルリテラシー |
| 4 a-デジタルライゼーション | b-デジタルライゼーション |
| 5 a-デジタルライゼーション | b-デジタルライゼーション |
| 6 a-デジタルライゼーション | b-デジタルライゼーション |

- (2) 文中の (c) ～ (e) に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。ただし、同じ記号には、同じ語句が入るものとする。 [解答番号6]

- | | | |
|------------|-----------|-------|
| 1 c-業務形式 | d-デジタル教科書 | e-最適化 |
| 2 c-業務プロセス | d-デジタル教材 | e-重点化 |
| 3 c-業務プロセス | d-デジタル教材 | e-最適化 |
| 4 c-業務形式 | d-デジタル教科書 | e-重点化 |
| 5 c-業務形式 | d-デジタル教材 | e-最適化 |
| 6 c-業務プロセス | d-デジタル教科書 | e-重点化 |

- (3) 教育デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進についての説明として誤っているものはどれか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号7]

- | |
|--|
| 1 GIGAスクール構想による1人1台端末の実現をはじめ、全ての学校においてICT環境を着実に整備しつつ、当面、第2段階を見据えながら、全国全ての学校で、第1段階の実現を着実に進めることが求められる。 |
| 2 推進に当たっては、デジタル機器・教材の活用はあくまで手段であることに留意することが必要である。 |
| 3 初等中等教育においては、学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力を育成するとともに、そのための教師の指導力向上・ICT環境整備の更なる充実が求められる。 |
| 4 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出すための教育を実現する観点から、遠隔・オンライン教育やデジタル機器の機能を最大限に活用して誰もが質の高い教育を受ける機会を確保することが重要である。 |
| 5 推進に当たっては、デジタル社会の正負の側面にも留意しつつ、デジタルリテラシーやサイバーセキュリティの知識を身に付け、自分で考え行動できる力を育むことも求められる。 |
| 6 地域や学校間の格差拡大につながらないように、十分な支援が必要である。 |

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- ⑥ 下の文は、「小学校プログラミング教育の手引（第三版）」（令和2年2月 文部科学省）の一部である。次の問いに答えよ。

有識者会議「議論の取りまとめ」において「プログラミング的思考」は、「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを（ ）に考えていく力」と説明されています。

*「有識者会議」とは、「小学校段階における論理的思考力や創造性、問題解決能力等の育成とプログラミング教育に関する有識者会議」（平成28年6月16日）を指す。

- 1) 上記の文中の（ ）に当てはまる語句はどれか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号8]

1 推論的 2 想像的 3 言語的 4 抽象的 5 数理的 6 論理的

- 2) 有識者会議「議論の取りまとめ」において「プログラミング的思考」は、「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力」と説明されています。このことをコンピュータを動作させることに即して考えると、「議論のとりまとめ」では、下記のア～オはどのような順番になると示されているか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号9]

ア コンピュータにどのような動きをどのような順序でさせればよいのかを考える。
 イ コンピュータにどのような動きをさせたいのかという自らの意図を明確にする。
 ウ これらの命令（記号）をどのように組み合わせれば自分が考える動作を実現できるかを考える。
 エ その命令（記号）の組合せをどのように改善すれば自分が考える動作により近づいていくのかということも試行錯誤しながら考える。
 オ 一つ一つの（動き）に対応する命令（記号）が必要であることを理解し、コンピュータが理解できる命令（記号）に置き換える。

1 イ → ア → オ → ウ → エ
 2 イ → オ → ア → ウ → エ
 3 ア → イ → ウ → エ → オ
 4 イ → ア → ウ → オ → エ
 5 ア → イ → オ → エ → ウ
 6 ア → イ → エ → ウ → オ

- 3) □内は上記文中の有識者会議「議論の取りまとめ」において、プログラミング教育で育む知識及び技能について、小・中・高の段階別に示されたものである。文中の（ a ）～（ c ）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号10]

（小）身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な（ a ）があることに気付くこと。
 （中）社会におけるコンピュータの役割や影響を理解するとともに、簡単な（ b ）を作成できるようにすること。
 （高）コンピュータの働きを（ c ）に理解するとともに、実際の問題解決にコンピュータを活用できるようにすること。

1 a-ツール b-コンテンツ c-機能的
 2 a-ツール b-コンテンツ c-科学的
 3 a-手順 b-プログラム c-科学的
 4 a-手順 b-プログラム c-機能的
 5 a-ツール b-プログラム c-科学的
 6 a-手順 b-コンテンツ c-機能的

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- 7 令和5年3月にとりまとめられた「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(COCOLOプラン)を踏まえ、不登校特例校」の名称を、より子供たちの目線に立ったものに変更するという「『不登校特例校』の新たな名称について(通知)」(令和5年8月31日 文部科学省)が出された。次の問いに答えよ。

- (1) 下の文はこの「通知」の一部である。()に当てはまる語句はどれか。□内の1～6から1つ選べ。

[解答番号11]

文部科学省として、当該学校の名称を、従来使用していた「不登校特例校」に代えて、新たに「学びの()学校」とすること。

- 1 個別最適化
- 2 個性化
- 3 サテライト
- 4 サポート
- 5 多様化
- 6 エンパワー

- (2) 不登校児童生徒の実態に配慮して特別に編成された教育課程に基づく教育を行う学校に関しては、「指定に係る留意事項」が定められている。その記述として下線部について誤っているものはどれか。□内の1～6から1つ選べ。

[解答番号12]

- 1 児童生徒について、不登校状態であるか否かは、小学校又は中学校における不登校児童生徒に関する文部科学省の調査で示された年間30日以上欠席という定義が一つの参考となり得ると考えられるが、その判断は小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校(以下「小学校等」という)又はその管理機関が行う。
- 2 不登校児童生徒以外の児童生徒については、特別の教育課程の対象とすることができる。
- 3 特別の教育課程とは、憲法、教育基本法の理念を踏まえ、学校教育法に定める学校教育の目標の達成に努めつつ、施行規則の定めにかかわらず編成される教育課程である。
- 4 市町村が新たに設置する高等学校若しくは中等教育学校又は学校法人が新たに設置する小学校、中学校、義務教育学校、高等学校若しくは中等教育学校において特別の教育課程を編成して教育を実施することを希望する場合、当該学校の設置認可の前に、特別の教育課程を編成して教育を実施する必要がある学校として指定を受ける必要がある。
- 5 市町村が新たに設置する高等学校若しくは中等教育学校又は学校法人が新たに設置する小学校、中学校、義務教育学校、高等学校若しくは中等教育学校について、文部科学大臣が指定をした際には、文部科学省はその旨を速やかに、当該学校の設置認可権者(市町村立の高等学校又は中等教育学校については都道府県教育委員会、私立の小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校については都道府県知事)に対して通知することとしているので、その旨留意すること。
- 6 指定を受けた小学校等については、文部科学省ホームページにおいて公表するものであること。

- (3) 下の文は、不登校児童生徒の実態に配慮した「特別の教育課程」の編成についての留意事項の一つを示したものである。(a)～(c)に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。

[解答番号13]

例えば不登校児童生徒の学習状況にあわせた少人数指導や(a), 個々の児童生徒の実態に即した支援((b)や保護者への支援等), (c)の学習プログラムの積極的な活用など指導上の工夫をすることが望ましいこと。

- | | | | |
|---|----------|--------|-------|
| 1 | a-協働的な学び | b-教育相談 | c-課程外 |
| 2 | a-協働的な学び | b-家庭訪問 | c-課程外 |
| 3 | a-協働的な学び | b-家庭訪問 | c-学校外 |
| 4 | a-習熟度別指導 | b-家庭訪問 | c-学校外 |
| 5 | a-習熟度別指導 | b-教育相談 | c-学校外 |
| 6 | a-習熟度別指導 | b-教育相談 | c-課程外 |

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- 8 下の文は、都道府県教育委員会等が実施している主な研修の種類と研修名である。文中の (a) ～ (c) に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。 内の 1 ～ 6 から 1 つ選べ。 [解答番号14]

- 法定研修（原則として全教員が対象）
初任者研修 中堅教諭等 (a) 研修
- 教職経験に応じた研修
5 年経験者研修 (b) 年経験者研修
- 職能に応じた研修
生徒指導主任研修など 新任教務主任研修など
- 長期派遣研修
大学院・民間企業等への長期派遣研修
- 指導が不適切な教員に対する研修
(c) 研修

- | | | |
|--------------|--------|----------|
| 1 a - リメディアル | b - 15 | c - 指導改善 |
| 2 a - リメディアル | b - 20 | c - 訓戒指導 |
| 3 a - リメディアル | b - 15 | c - 訓戒指導 |
| 4 a - 資質向上 | b - 20 | c - 訓戒指導 |
| 5 a - 資質向上 | b - 15 | c - 指導改善 |
| 6 a - 資質向上 | b - 20 | c - 指導改善 |

- 9 文部科学大臣は、令和 3 年 3 月に『『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について』を、中央教育審議会に諮問した。その諮問の中で答申を求めている事項として誤っているものはどれか。 内の 1 ～ 6 から 1 つ選べ。なお、これに対する答申は令和 4 年 12 月に提出されている。 [解答番号15]

- 1 教師に求められる資質能力の再定義
- 2 多様な専門性を有する質の高い教職員集団の在り方
- 3 教員免許の在り方・教員免許更新制の抜本的な見直し
- 4 教員養成系以外の修士課程等における教員養成機能の充実
- 5 教員養成大学・学部、教職大学院の機能強化・高度化
- 6 教師を支える環境整備

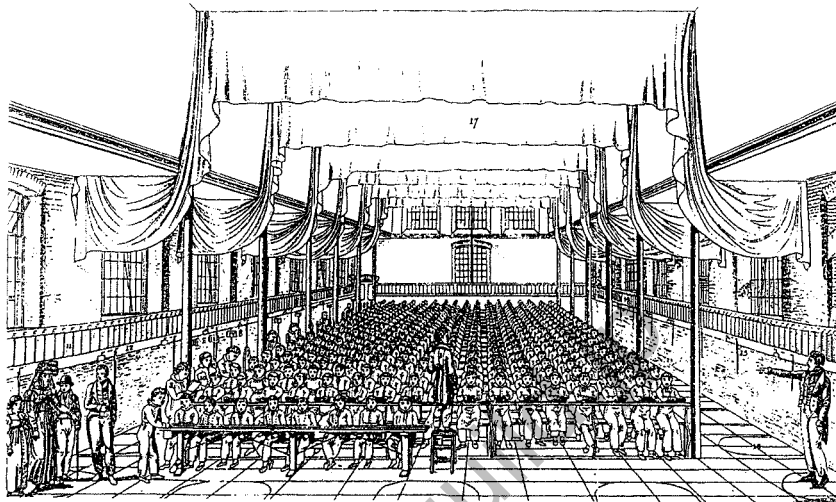
- 10 大正時代には日本でも新教育運動が展開された。その中には八大教育主張と呼ばれる教育論がある。以下は、そのうちの六つの教育論とその主張者の組合せである。組合せとして誤っているものはどれか。 内の 1 ～ 6 から 1 つ選べ。 [解答番号16]

- 1 自学教育論と片山伸
- 2 自動教育論と河野清丸
- 3 自由教育論と手塚岸衛
- 4 一切衝動皆満足論と千葉命吉
- 5 動的教育論と及川平治
- 6 全人教育論と小原国芳

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- 11 下のイラストは、19世紀の英国における授業の風景である。この風景と最も関係が深い事項はどれか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号17]



- 1 ウィネットカ・プラン
- 2 田園教育舎
- 3 合科教授
- 4 フランケ学園
- 5 モニトリアル・システム（助教法）
- 6 貧民学校

- 12 下の文章は、ある学習方法の説明文である。この学習方法は一般に何と呼ばれているか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号18]

児童・生徒数が30人の学級があるとして、それを6人ずつの5班に分ける。教師はあるテーマについて6つの課題を用意し、それぞれの課題をA B C D E Fとする。各班の6人をa b c d e fとして、aにはAの課題、bにはBという具合に、課題を与える。a同士5人が集まってAの課題について話し合い、まとめる。b以下も同様にする。aは元の班に戻ってAについてb c d e fに教える。b以下も同様にする。このようにしてテーマについて学習を深める方法である。

- 1 発見学習
- 2 ジグソー学習
- 3 ティーム・ティーチング
- 4 完全習得学習
- 5 問題解決学習
- 6 オープン・エデュケーション

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- 13 平成29年〔小学校、中学校、特別支援学校小学部・中学部〕、平成30年〔高等学校〕、平成31年〔特別支援学校高等部〕にそれぞれ改訂された学習指導要領では、子供たちに育成すべき資質・能力として、以下の三つの柱が示されている。三つの柱を説明した下の文中の（ a ）～（ c ）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。

[解答番号19]

- 学んだことを人生や社会に生かそうとする（ a ）、人間性など
- 実際の社会や生活で生きて働く知識及び（ b ）
- 未知の状況にも対応できる思考力、判断力、（ c ）など

- | | | |
|-------------|------|-------|
| 1 a－学びに向かう力 | b－技能 | c－実践力 |
| 2 a－学びに向かう力 | b－技術 | c－表現力 |
| 3 a－学びに向かう力 | b－技能 | c－表現力 |
| 4 a－生きる力 | b－技術 | c－実践力 |
| 5 a－生きる力 | b－技能 | c－実践力 |
| 6 a－生きる力 | b－技術 | c－表現力 |

- 14 下の文は、『生徒指導提要』（令和4年12月改訂）の第4章 いじめ 3. 2 いじめの未然防止教育に関する記述の一部である。文中の（ a ）～（ c ）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。

[解答番号20]

(2) いじめの構造から考える未然防止教育の方向性

いじめはいじめ側といじめられる側という二者関係だけで生じるものではありません。「観衆」としてはやし立てたり面白がったりする存在や、周辺で暗黙の了解を与える「傍観者」の存在によって成り立ちます。

いじめを防ぐには、「傍観者」の中から勇気をふるっていじめを抑止する「（ a ）」や、いじめを告発する「相談者」が現れるかどうかポイントになります。

日本のいじめの多くが同じ学級・ホームルームの児童生徒の間で発生することを考えると、学級・ホームルーム担任が、いじめられる側を「（ b ）」という意味を示し、根気強く日常の安全確保に努める取組を行うなどして担任への信頼感と学級・ホームルームへの安心感を育み、学級・ホームルーム全体にいじめを（ c ）雰囲気浸透させることが重要です。

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1 a－判定者 | b－必ず保護する | c－許容しない |
| 2 a－判定者 | b－絶対に守る | c－断罪する |
| 3 a－判定者 | b－必ず保護する | c－断罪する |
| 4 a－仲裁者 | b－絶対に守る | c－許容しない |
| 5 a－仲裁者 | b－必ず保護する | c－許容しない |
| 6 a－仲裁者 | b－絶対に守る | c－断罪する |

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- 15 下のA～Dの文は、心の理論に関して述べたものである。正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号21]

- A ビアジェによって提唱された概念で、直接目で見ることではできない「心」を想定して、心の状態と自分や他者との行動の関連を推測する枠組みをもって心的状態を理解する能力のことを心の理論という。
 B 心の理論の測定のためには誤信念課題が用いられることが多い。
 C 8歳頃を境に誤信念課題への正答率が上昇する。
 D 代表的な誤信念課題の1つとして、サリー・アン課題がある。

- 1 A-○ B-○ C-○ D-○
 2 A-× B-○ C-○ D-○
 3 A-○ B-× C-○ D-×
 4 A-× B-○ C-× D-○
 5 A-○ B-× C-× D-×
 6 A-× B-○ C-× D-×

- 16 下のA～Cの文は、心理学の学習理論に関して述べたものである。それぞれの学習理論と関係が強い人物について正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号22]

- A すでもっている行動レパトリーをそのまま適用するのでは解決が難しい課題において、試行錯誤をするのではなく、ある時、突然、解決法が思い浮かび、一気に問題解決・学習に至ることを洞察という。
 B ある実験で、イヌがエサを食べる時に、一緒にベルやメトロノームなどの音を繰り返し提示することにより、元々はベルやメトロノームの音に対して強い反応を示さなかったものが、音を聞くだけで唾液を分泌する反応を示すようになった。このような学習の手続きを古典的（レスポナント）条件づけという。
 C 人間が直接的な経験を経ることなく、他者（モデル）の行動やその結果を観察するだけで、モデルと類似した行動を取るようになることを観察学習という。

- 1 A-パヴロフ B-ケーラー C-バンデューラ
 2 A-ケーラー B-パヴロフ C-バンデューラ
 3 A-バンデューラ B-パヴロフ C-ケーラー
 4 A-ケーラー B-バンデューラ C-パヴロフ
 5 A-パヴロフ B-バンデューラ C-ケーラー
 6 A-バンデューラ B-ケーラー C-パヴロフ

- 17 下のA～Dの文は、知能検査に関して述べたものである。それぞれの知能検査の名称について正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号23]

- A カウフマン夫妻によって作成された知能検査。ルリアの神経心理学モデルを基礎理論としており、同時処理や継次処理などの尺度で認知能力を測定する。
 B ウェクスラーにより開発された知能検査（ウェクスラー式知能検査）のうち、成人用の知能検査。
 C ウェクスラー式知能検査のうち、児童用の知能検査。領域別の知能を測定でき、知能の個人内差（得意・不得意）が把握できる。
 D 世界で最初に開発された知能検査の流れをくむもので、日本語の文化・様式に合うように日本人により改訂・標準化された知能検査。

- 1 A-WAIS B-田中ビネー知能検査 C-K-ABC/K-ABC-II D-WISC
 2 A-WISC B-WAIS C-田中ビネー知能検査 D-K-ABC/K-ABC-II
 3 A-WAIS B-K-ABC/K-ABC-II C-田中ビネー知能検査 D-WISC
 4 A-田中ビネー知能検査 B-WISC C-WAIS D-K-ABC/K-ABC-II
 5 A-K-ABC/K-ABC-II B-WAIS C-WISC D-田中・ビネー知能検査
 6 A-K-ABC/K-ABC-II B-WISC C-WAIS D-田中・ビネー知能検査

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- 18 下のA～Dの文は、ある防衛機制の特徴に関して述べたものである。それぞれの名称として正しい組合せはどれか。 内の1～6から1つ選べ。 [解答番号24]

- A もっている衝動や願望などとは逆の言動や態度を取ることで、本心が表れるのを防ぐこと。
 B 早期の発達段階（例えば、幼児期）の行動をすることにより、困難な出来事を避けようとする。こと。
 C 反社会的な欲求や感情を社会的に容認された方法で解消しようとする。こと。
 D 受け入れがたい苦痛な経験や感情、欲求などを意識から締め出し、無意識に閉じ込めておくこと。

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| 1 A－抑圧 | B－昇華 | C－反動形成 | D－退行 |
| 2 A－昇華 | B－反動形成 | C－退行 | D－抑圧 |
| 3 A－反動形成 | B－退行 | C－昇華 | D－抑圧 |
| 4 A－退行 | B－抑圧 | C－反動形成 | D－昇華 |
| 5 A－抑圧 | B－退行 | C－昇華 | D－反動形成 |
| 6 A－反動形成 | B－昇華 | C－抑圧 | D－退行 |

- 19 下の文は、平成31年3月22日公布の「奈良県部落差別の解消の推進に関する条例」から抜粋したものである。文中の（ a ）～（ d ）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。 内の1～6から1つ選べ。 [解答番号25]

第1条 この条例は、現在もなお（ a ）が存在するとともに、（ b ）の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、全ての国民に（ c ）の享有を保障する日本国憲法及び部落差別の解消の推進に関する法律（平成28年法律第109号）の理念にのっとり、部落差別は許されないものであるとの認識の下にこれを解消することが重要な課題であることに鑑み、部落差別の解消に関し、基本理念を定め、県の責務を明らかにし、及び施策を推進するための基本的な計画の策定等について定めることにより、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的とする。

第2条 部落差別の解消に関する施策は、全ての県民が等しく（ c ）を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり、部落差別を解消する必要性に対する県民一人一人の理解を深めるよう努めることにより、全ての人を包摂し、及び（ d ）社会の実現を基本理念として、行わなければならない。

- | | | | |
|------------|--------|-----------|-----------|
| 1 a－部落差別 | b－情報化 | c－基本的人権 | d－人に優しい |
| 2 a－貧困や飢餓 | b－人権教育 | c－福利 | d－部落差別のない |
| 3 a－権利の不平等 | b－民主主義 | c－法の下での平等 | d－持続可能な |
| 4 a－身分制度 | b－経済 | c－質の高い教育 | d－公正、平和な |
| 5 a－非人道的行為 | b－情報化 | c－福利 | d－部落差別のない |
| 6 a－部落差別 | b－人権教育 | c－基本的人権 | d－持続可能な |

- 20 下の文は、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」（人権教育の指導方法等に関する調査研究会議）より抜粋したものである。文中の下線部a～eについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せはどれか。 内の1～6から1つ選べ。 [解答番号26]

人権尊重の理念は、平成11年の人権擁護推進審議会答申において、「a 自分の人権のみならず b 他人の人権についても正しく理解し、その権利の行使に伴う責任を自覚して、人権を c 全体に d 共有し合うこと、すなわち、人権の e 共存の考えととらえる」べきものとされている。このことを踏まえて、人権尊重の理念について、特に学校教育において指導の充実が求められる人権感覚等の側面に焦点を当てて児童生徒にもわかりやすい言葉で表現するならば、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」であるということが出来る。

- | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|-----|
| 1 a－○ | b－○ | c－○ | d－○ | e－× |
| 2 a－× | b－× | c－○ | d－○ | e－× |
| 3 a－× | b－○ | c－× | d－× | e－○ |
| 4 a－○ | b－× | c－× | d－○ | e－× |
| 5 a－○ | b－○ | c－× | d－× | e－○ |

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- 21 下の文は、「道徳教育に係る教育課程の改善等について（答申）」（平成26年10月21日 中央教育審議会）の一部である。文中の下線部 a～f について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号27]

教育基本法をはじめとする我が国の教育の根本理念に鑑みれば、道徳教育は、教育の a 要をなすものであり、学校における道徳教育は、学校のあらゆる教育活動を通じて行われるべきものである。

同時に、道徳教育においては、これまで受け継がれ、b 共有されてきた c 習慣やマナー、共同体の中で大切にされてきた様々な d 道徳的価値などについて、発達の段階に即し、一定の教育計画に基づいて学び、それらを理解し身に付けたり、様々な角度から考察し自分なりに考えを深めたりする学習の過程が重要である。このため、e 昭和52年に、小・中学校において、道徳の時間が設けられ、現在、道徳の時間は、各教科等における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、児童生徒に d 道徳的価値の自覚や生き方についての考えを深めさせ、f 道徳的実践力を育成するものとされている。

- | | | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | a - × | b - ○ | c - ○ | d - ○ | e - ○ | f - × |
| 2 | a - ○ | b - × | c - × | d - ○ | e - ○ | f - ○ |
| 3 | a - × | b - ○ | c - ○ | d - ○ | e - × | f - ○ |
| 4 | a - × | b - ○ | c - × | d - ○ | e - × | f - ○ |
| 5 | a - ○ | b - ○ | c - ○ | d - × | e - × | f - ○ |
| 6 | a - ○ | b - × | c - × | d - × | e - ○ | f - × |

- 22 下の文は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会）の一部である。文中の（ a ）～（ f ）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号28]

「対話的な学び」の視点からは、子供同士の（ a ）、教員や地域の人との対話、（ b ）の考え方を手掛かりに考えたり、自分と異なる意見と向かい合い議論すること等を通じ、自分自身の道徳的価値の理解を深めたり広げたりすることが求められる。

例えば、教材や体験などから考えたこと、感じたことを発表し合ったり、「理解し合い、信頼や友情を育む（友情、信頼）」と「同調圧力に流されない（公正、（ c ）、社会正義）」といった（ d ）場面について、話し合いなどにより異なる考えに接し、（ e ）に考え、議論したりするなどの工夫を行うことや、日頃から何でも言い合え、認め合える学級の雰囲気を作ることが重要である。また、資料を通じて先人の考えに触れて道徳的価値の理解を深めたり（ f ）学習につなげたりすることができるような教材の開発・活用を行うことや、様々な専門家や保護者、地域住民等に道徳科の授業への参加を得ることなども「対話的な学び」の視点から効果的な方法と考えられる。

- | | | | | | | |
|---|--------|--------|--------|---------------|-------------|-------------|
| 1 | a - 協働 | b - 先哲 | c - 公平 | d - 葛藤や衝突が生じる | e - 問題解決的 | f - 実感を伴った |
| 2 | a - 協働 | b - 先哲 | c - 公平 | d - 葛藤や衝突が生じる | e - 多面的・多角的 | f - 自己を見つめる |
| 3 | a - 協働 | b - 他者 | c - 平等 | d - 葛藤や衝突が生じる | e - 問題解決的 | f - 実感を伴った |
| 4 | a - 対話 | b - 他者 | c - 平等 | d - 意思決定をする | e - 問題解決的 | f - 自己を見つめる |
| 5 | a - 対話 | b - 他者 | c - 平等 | d - 意思決定をする | e - 多面的・多角的 | f - 実感を伴った |
| 6 | a - 対話 | b - 先哲 | c - 公平 | d - 意思決定をする | e - 多面的・多角的 | f - 自己を見つめる |

校 種
全校種

教 科 (科目)
教職教養

- 23 下の文は、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(令和3年6月 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)の一部である。文中の(a)～(c)に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号29]

注意欠陥多動性障害(ADHD: Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder)とは、年齢あるいは(a)に不釣り合いな注意力又は(b)・多動性を特徴とする障害であり、社会的な活動や学校生活を営む上で著しい困難を示す状態である。通常12歳になる前に現れ、その状態が継続するものであるとされている。注意欠陥多動性障害の原因としては、(c)系に何らかの要因による機能不全があると推定されている。

	a	b	c
1	発達	衝動性	抹消神経
2	発達	過敏性	中枢神経
3	環境	衝動性	運動神経
4	環境	過敏性	抹消神経
5	発達	衝動性	中枢神経
6	環境	過敏性	運動神経

- 24 下の文は、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)」(平成24年7月 中央教育審議会初等中等教育分科会)の一部である。文中の(a)～(c)に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。□内の1～6から1つ選べ。 [解答番号30]

特別支援学校は、小・中学校等の教員への(a)機能、特別支援教育に関する相談・情報提供機能、障害のある児童生徒等への指導・支援機能、関係機関等との連絡・調整機能、小・中学校等の教員に対する(b)機能、障害のある児童生徒等への(c)等の提供機能といったセンター的機能を有している。今後、域内の教育資源の組合せ(スクールクラスター)の中でコーディネーター機能を発揮し、通級による指導など発達障害をはじめとする障害のある児童生徒等への指導・支援機能を拡充するなど、インクルーシブ教育システムの中で重要な役割を果たすことが求められる。そのため、センター的機能の一層の充実に図るとともに、専門性の向上にも取り組む必要がある。

	a	b	c
1	支援	研修協力	施設設備
2	指導	研修協力	医療行為
3	支援	管理	施設設備
4	指導	管理	施設設備
5	支援	研修協力	医療行為
6	指導	管理	医療行為

